

## 市民参加の考え方と概要

### 1 市民参加の基本的考え方

ちがさき都市マスタープラン改定にあたっては、「住みたい 住み続けたいまち」を基本的な考え方とし、生活者目線で「茅ヶ崎の価値、魅力（茅ヶ崎らしさ）」を捉え直し、共有します。そこで、生活者目線で見えた茅ヶ崎の価値や魅力、すなわち「茅ヶ崎らしさ」の要素を抽出するためにいくつかの市民参加を行います。

#### 将来都市像の実現に向けた基本的な考え方

**「住みたい 住み続けたいまち」**を改定の基本的考え方として

- 生活者目線で 「茅ヶ崎の価値、魅力（茅ヶ崎らしさ）」 を捉え直し、共有する
- みんなで 「茅ヶ崎の価値、魅力（茅ヶ崎らしさ）」 を 「育む」

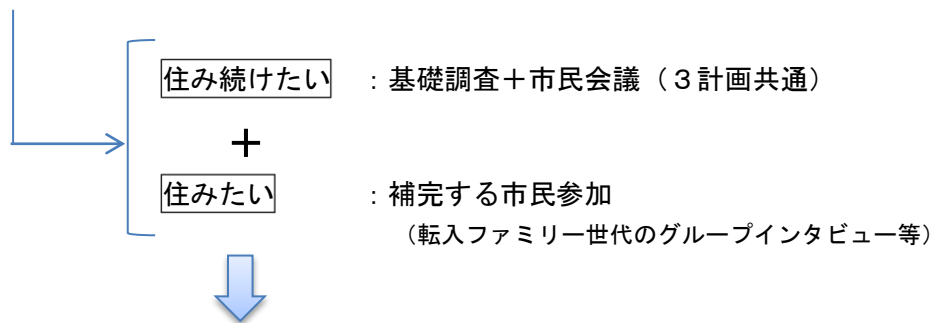
#### （1）茅ヶ崎らしさの捉え直し

「住みたい 住み続けたい」を「住みたい」と「住み続けたい」に分けて考えて市民参加を実施します。まず、「住み続けたい」については各計画のアンケート調査等の基礎調査を実施するとともに、ちがさき都市マスタープラン、茅ヶ崎市みどりの基本計画、茅ヶ崎市景観計画（以下、「3計画」という。）共通の市民参加として市民会議を実施します。基礎調査結果については、市民会議のテーマ設定や議論材料として活用します。

また、「住みたい」については、転入ファミリー世代のグループインタビュー等の補完する市民参加を実施します。（詳細は後述）

#### <茅ヶ崎らしさの明確化の方法（イメージ）>

“**「住みたい 住み続けたい」**” = “生活者目線でみた茅ヶ崎の価値・魅力” = “茅ヶ崎らしさ”



**「茅ヶ崎らしさ」**を明確化！

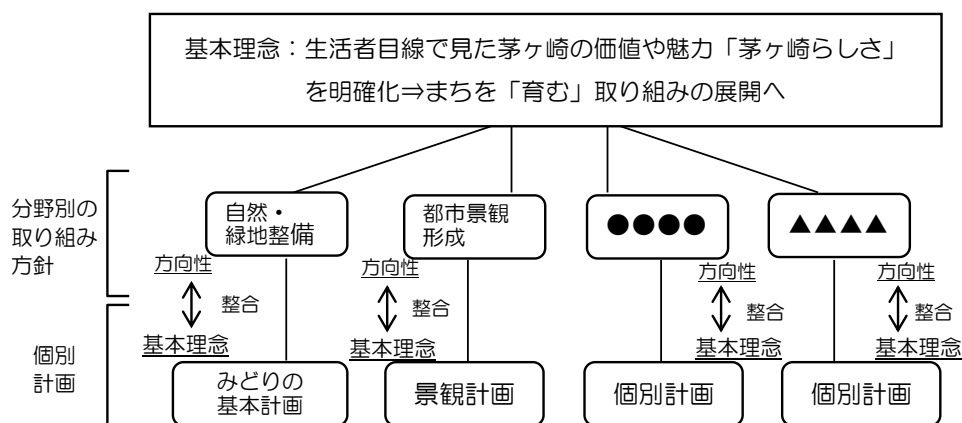
## (2) 茅ヶ崎らしさの計画や施策への反映

これからのまちづくりは、「茅ヶ崎らしさ」を市民・事業者・市が共有しながら、「住みたい 住み続けたいまち」の実現に向けて各主体が考え、協働しながら施策を実行することが重要です。

そのため、まちづくりのマスタープランである「ちがさき都市マスタープラン」の基本理念に「茅ヶ崎らしさ」の考え方を示すことで共有を図り、「茅ヶ崎らしさ」を向上させるための分野ごとにおける取り組み方針として分野ごとの方向性を示します。

個別計画については、「ちがさき都市マスタープラン」における分野の方向性を基本理念とし、具体的な施策を実行していきます。

＜茅ヶ崎らしさの計画や施策への反映イメージ＞



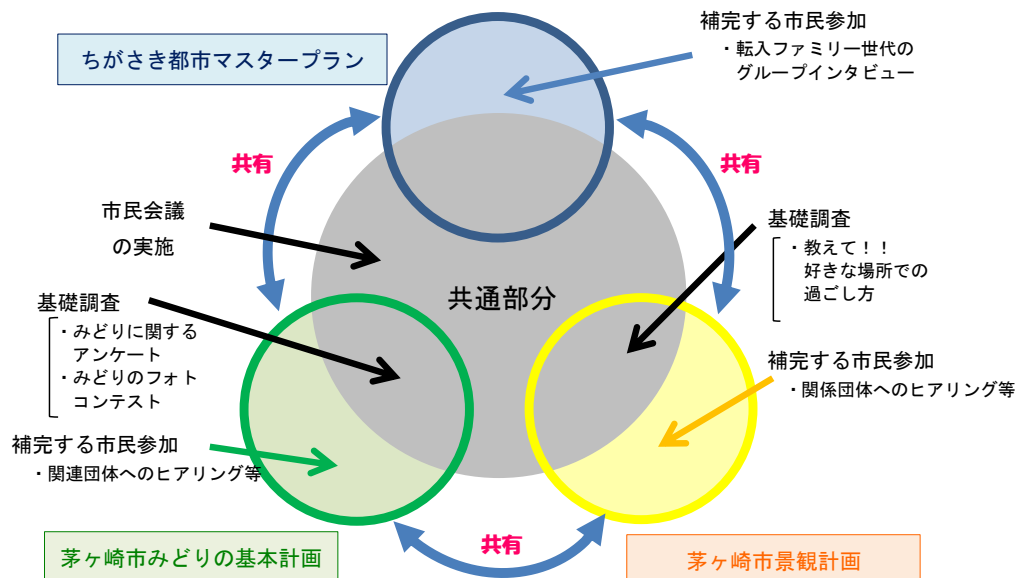
## (3) 3計画が連携した市民参加の体系的な実施方針

日々の生活（行動）に着目し、茅ヶ崎にどのような印象を持ち、どのような過ごし方をし、何を感じているのかを整理した上で、住みたい・住み続けたいまちを創る施策方向を探ることを軸に、3計画が連携した市民参加手法を企画・実施します。

3計画が共通する「茅ヶ崎らしさ」の要素を抽出する方法として、合同で市民会議を実施し、茅ヶ崎の良いところや、これからも“住み続けたい”と思うにはこういった要素がまちに大事か（又は必要か）、改善点はあるか議論します。

また、3計画共通の市民参加以外にも、補完する市民参加（転入ファミリー世代のグループインタビュー等）を実施するとともに、その結果の共有も図ります。

＜3計画が連携した市民参加の体系的な実施の概念＞



## (4) 市民参加の流れ

### ① 基礎調査（アンケート）

茅ヶ崎の特徴や魅力を、他都市との比較や日々の行動から考えます。調査から、茅ヶ崎の特徴や魅力を活かしたまちのあり方をまとめます。

#### 地域に関するアンケート

茅ヶ崎のイメージや魅力から、茅ヶ崎のまちに大事な要素を抽出

#### 個別アンケート等

生活行動から、茅ヶ崎の特徴を把握し、潜在するまちづくりへの想いを抽出

### ② 市民会議

基礎調査の結果や講演を踏まえながら、あらためてまちの良いところやまちづくりの方向性を議論する。議論にあたっては、市外の方の意見も聞きながら、議論を進めます。

基礎調査の結果をもとに、「住みたい」と思える茅ヶ崎らしさを把握するためのサブテーマを設定して討議を行います。

#### グループディスカッション（1日目）

- 3計画の改定のテーマと市民会議の内容について
- 講演（日々の生活から分かる茅ヶ崎の魅力について）
- 茅ヶ崎の良いところを話す。
- 茅ヶ崎がこうあってほしいという想い

#### グループディスカッション（2日目）

- 住みたい、住みたいと思うまちであるために
- 茅ヶ崎が魅力的になるために自分達の関わり方

### アウトプット

日々の生活を通じて、「まちづくり方向性」、「大事な要素」「市民等の関わり方」をまとめます

#### <市民会議の考え方>

第1段階 基礎調査



第2段階 市民会議

基礎資料の結果を基に「住みたい」を知るためのサブテーマを設定！

## 2 市民参加の内容

### (1) 基礎調査（アンケート）

アンケートについては、次のとおり調査を4つ行いました。

#### ① 地域に関するアンケート

---

オリジナルブランド業務（産業振興課）で行う地域に関するアンケートを活用します。市民と他地域住民の双方に共通の設問・選択肢を用いたアンケートを行い、茅ヶ崎の特性を、他都市との差異等について比較し、茅ヶ崎のまちのイメージや魅力にあったまちの要素を抽出しました。

■調査手法：インターネットアンケート（実査会社保有パネルを対象に実施）

■実施日：11月下旬～12月上旬（単純集計：12月中、分析：3月末まで）

■調査対象：500サンプル（20歳以上／男女半々）

内訳 茅ヶ崎市：200サンプル

市以外：300サンプル（東京・埼玉・神奈川、栃木・山梨・静岡）

■比較検討：藤沢市、鎌倉市（湘南のイメージが強い都市）

府中市、那須塩原市、軽井沢町（認知度があり、東京までの通勤時間が茅ヶ崎と近い）

#### ② 教えて！！好きな場所での過ごし方

---

日々の過ごし方を、「いつ」、「誰と」、「移動手段」、「気分」、「理由」及び「思い出」から、生活動線から、土地利用、交通、都市景観、みどりなどのあり方を生活動線から把握しました（簡易型生活日記調査）。

■調査手法：インターネットアンケート、アンケート用紙配布

■実施場所：市内公共施設、サポセン、まちスポ、POE

■実施日：平成28年12月11日（日）～25日（日）

#### ③ みどりに関するアンケート

---

日常生活で、木や花とどんな場所でふれあい、どんな気持ちになるか調査しました。そこから、みどりからできることを把握しました。また、生物多様性の認識状況も調査しました。

■調査手法：インターネットアンケート、アンケート用紙配布

■実施場所：自然環境に関する講座等に併せて

■実施日：平成28年12月下旬～1月

#### ④ みどりのフォトコンテスト

---

日々の生活の中で、木や森、花や実がある好きな風景を切り取り、なぜ好きか、なにを感じるか、そこでの思い出などのコメントを添えて投稿してもらう企画です。

■調査手法：SNS投稿（Facebook）、写真と好きな理由を各用紙を配布

■実施場所：Facebook、市内公共施設、サポセン、まちスポ、POE

■実施日：平成29年4～5月

## (2) 市民会議

日常生活から茅ヶ崎の魅力やまちづくりを考え、茅ヶ崎のまちにあってほしい要素や市民等からの関わり方を討議する。基礎調査の結果などを鑑み、テーマの具体化を検討します。

また、市民会議の議論内容を各計画で共有し、審議会等での議論に反映するため、3計画の審議会や委員会の委員がオブザーバーとして参加します。

実施日 : 1日目 29年7月中旬の土日(サザンビーチの花火大会前)  
2日目 29年7月下旬もしくは8月上旬の土日(お盆前まで)

参加者 : 市内参加者 30名程度(無作為抽出)  
審議会委員 6名(市外在住の学識、公募の市民)  
景観審: 中村委員(学識、女性/30代)、池田委員(公募、男性/50代)  
みどり審: 荒井委員(学識、女性/40代)、古澤さん(公募、女性/10代)  
都市マス: ○○委員(学識、○○/○○代)、公募の市民(公募、男性/50代)  
市職員: 主任~主査の職員 6名程度  
(秘書広報課、企画経営課、文化生涯学習課、環境政策課、産業振興課、社会教育課、高齢福祉介護課 など)

### ① プログラムの骨格構成案

#### <1日目>

- 狙い: 茅ヶ崎ならではの暮らし、ライフスタイルにつながるような良いところや資源、生活の中でのシーンを確認・共有し、将来のあって欲しい姿を話し合います。
- ・3計画の改定テーマに関する情報提供、講演に続き、茅ヶ崎らしさや特徴、良さを再認識・共有するためのグループディスカッション、将来のあって欲しい姿についてのグループディスカッションを行います。
- ・1日目のプログラムは、共通(同じメンバー)のグループ編成で討議します。グループ編成は、属性別ではなく、混成型を想定しています。5グループ程度での討議を想定しています。

#### <2日目>

- 狙い: 住み続けたいまちに必要な(あって欲しい)内容を、まちづくりテーマに応じて話し合います。そのために市民ができることを話し合います。
- ・前回のマスタープラン改定時の市民参加で大きなテーマとした、景観・みどり、交通・道路、安全・安心をテーマに設定し、各々について必要なこと、あって欲しいこと、そのために市民ができることをディスカッションします。(グループ編成は、属性別ではなく、混成型を想定)
- ・各テーマで、市が目指す方向や、関連団体の取組などを情報提供した後、ディスカッションします。
- ・1日目と2日目ではグループ編成をシャッフルします。2日目のプログラムは、1テーマ毎にグループをシャッフルすることを想定しています。5グループ程度での議論を想定しています。

## プログラムの概略構成イメージ

1日目 改めて考える～ 茅ヶ崎らしさってなんだろう 9：30～16：00	2日目 みんなで創ろう～住み続けたいまち茅ヶ崎 9：30～17：00
<p>◆ 3計画の改定テーマに関する情報提供</p> <p>◆ 講演：日々の生活からわかる茅ヶ崎の魅力について (60分)</p>	<p>● 住み続けたい茅ヶ崎市にするためのグループディスカッション：その1</p> <p>・子どもたちに残したいみどり、誇りに思えるような景観を守っていくために：景観・みどり (情報提供20分、ディスカッション70分、発表30分)</p>
<p>● 茅ヶ崎市の良いところや資源を共有するグループディスカッション</p> <p>・日頃の出来事を思い起こし、印象に残った内容を共有：いつ、誰と、何をして、どのようなことが印象深かったか</p> <p>・茅ヶ崎ならではの良いところや、生活スタイルについて話し合い (ディスカッション80分、発表50分)</p> <p>● 将来の望ましい茅ヶ崎市のあり方についてのグループディスカッション (ディスカッション60分、発表30分)</p>	<p>● 住み続けたい茅ヶ崎市にするためのグループディスカッション：その2</p> <p>・気軽に外出が楽しめる移動環境を確保するために：交通・道路 (情報提供20分、ディスカッション70分、発表30分)</p> <p>● 住み続けたい茅ヶ崎市にするためのグループディスカッション：その3</p> <p>・ともに支え合い、安心して暮らせる地域社会をつくるために：防災・防犯 (情報提供20分、ディスカッション70分、発表30分)</p>

### ② 資料の事前送付

- ・必要に応じ、以下の資料を事前に送付し、目を通して頂き、理解の一助とします。
- ・都市マスタープラン概要版
- ・景観・みどり、交通・道路、安全・安心に関する市の取組と今後の方向
- ・過年度の市民会議提言書 等

### (3) 補完する市民参加

#### ① 転入ファミリー世代のグループインタビュー

##### 【趣旨】

～外部目線での住み続けたいまちに必要な要素、長く住んでいる市民とのギャップを把握～  
市民会議参加者中には少ないと想定される、近年茅ヶ崎市に転入してきたファミリー世代を対象に、抱いていたイメージと実際に住んで感じたギャップ、住んで良いと感じたことなどを、グループインタビュー形式で把握します。

##### 【対象者（案）】

- ・ 5年以内に茅ヶ崎市に転入した30～40代女性グループ／5名程度
- ・ 5年以内に茅ヶ崎市に転入した30～40代男性グループ／5名程度

##### 【主なインタビュー項目】

- ・ 転入を決めた理由
- ・ 他に考えた移住先
- ・ 抱いていたイメージと実際に住んでのギャップ
- ・ 住んでみて良いと感じたこと

#### ② 関連団体へのヒアリング等

- ・ 景観やみどりに関わる関連団体の取組動向やまちづくりへの期待、地域団体の取組動向やまちづくりへの期待などをグループインタビューやヒアリング等で把握します。(個別計画で対応)